

審議会等の会議結果報告書

【担当課】生涯学習課図書館係

会 議 の 名 称	令和6年度第2回図書館協議会		
開 催 日 時	令和6年10月25日（金） 午後2時00分～4時15分		
開 催 場 所	富士見町図書館		
出 席 者	矢崎智義委員長、細川美歩子副委員長、北原東一委員、松岡隆志委員、百瀬るみ委員、両角薫委員、田村満理委員、志水琴美委員、上田生涯学習部長、矢嶋生涯学習課長、伊藤図書館長、他職員8名		
欠 席 者	小池千恵子委員、濱喜一郎委員、田村満利子委員、名取真理子委員		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍 聴 者 の 数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容		
委員長	1 開会（矢嶋生涯学習課長） 2 あいさつ 本日はお忙しいところ、視察を受け入れてくださいますありがとうございます。私たちは図書館をどのようにしていけばいいのか、何を指標としていけばいいのか話をしていますが、その中で富士見町図書館さんが何年にも渡って、貸出冊数日本一を取られているということを知りました。今日はその秘訣をお聞きできればと思いお伺いさせていただきました。よろしくお願い致します。		
富士見町図書館長	皆さんようこそ富士見町図書館へお越しくださいました。日頃から諏訪地域の図書館とネットワークで連携をさせていただいておりまして、茅野市図書館さんにおかれましても相互貸借等でいつもお世話になっておりますので、この場を借りてお礼を申し上げます。この建物は富士見町のコミュニティプラザと言いまして、1階に図書館と事務室、2階に博物館と公民館の施設が入り3つを合わせて複合施設として運営をしています。今日は月に1度の館内整理日ですので全員出勤しておりますが作業中で立て込んでおります。この後ご案内させていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。		
委員長	3 富士見町図書館見学 4 図書館協議会の公開について (事務局から説明を行う) (特に異議はなく、本日の会議について公開とすることを決定) 5 会議事項 (1) 質問事項への回答 では、見学させていただいた富士見町図書館さんの状況についてお伺いをさせていただきたいと思います。事前にお送りさせていただいている質問事項に沿ってお伺いしていきますので、よろしくお願い致します。 富士見町図書館さんが連続で何年も貸出冊数が日本一であったこと、また1人当たりの貸出冊数が茅野市の図書館より何倍も多い要因を、運営されている皆さまはどのようにお考えになっているのでしょうか。		

富士見町図書館長	まず、貸出冊数日本一というお話がありましたが、それについて説明をさせていただきたいと思います。この図書館ができたのが平成6年ですが、平成8年度から20年間日本一という言い方をさせていただいております。日本図書館協会が出している「図書館年鑑」に全国の図書館の貸出冊数が載っておりまして、平成8年から人口ごとの分類ができて、富士見町図書館は当時人口が1万5千3百人ほどでしたので、1万5千人から2万人の規模の市町村の図書館の中で貸出冊数が実は4位だったのです。でも、当時の職員が冊数ではなく人口で割ってみたところ1位だったので「日本一」と言うようになりまして。確かに1万5千人の街と、例えば1万9千人の街では貸出冊数がだいぶ違ってきますから、人口で割ってみたらこの規模では1番だったということでこの呼び方をさせていただいております。けれども、平成29年からは富士見町の人口が1万5千人を割ってしまったので日本一とは言っておりません。
委員長	今年の長野県公共図書館概況調査票の中の令和5年度の1人当たりの個人貸出冊数を見ると、富士見町さんが17冊、茅野市は4冊となっています。蔵書数では茅野市のほうが多いのに、4倍も差がある要因は何だとお考えですか。
富士見町図書館長	要因は自分たちでもはっきりとはわかりません。図書館さんによって利用頻度や立地や蔵書構成など様々違うかと思います。その中で富士見町は先程見ていただいた通り雑誌の割合が多いことと、茅野市さんが作っていただいた資料にもありますようにコミックの割合が多いということは、貸出・返却等をカウンターで見えておりましても感じます。
富士見町図書館職員	特に何か特別なことをしているということは本当にはないです。でも、立地は良いのではと思います。立ち寄りやすいということはあるのかもしれないです。
委員長	貸出数が茅野市の4倍というのはショックです。開館日には人が大勢いらっしゃるのでしょうか。
富士見町図書館長	そんなに多くはないです。来館者の人数を入口のカウンターで把握していますが、平日で300人前後、休日になると500人程度です。これが多いか少ないかは私達にもわかりません。茅野市さんではどのくらいですか？
茅野市図書館長	茅野市はそれよりももう少し少なくて、平日で250人前後、休日は400人程度です。500人という和多い日です。
富士見町図書館職員	山梨県の方から来る利用者さんも結構多いです。
委員	山梨県の方も借りられるのですか？
富士見町図書館職員	そうですね。北杜市の方は登録ができるので、来ていただいております。
委員長	北杜市にも「金田一春彦記念図書館」などの良い図書館がありますよね。
富士見町図書館職員	そうですね。
委員	1回の貸出限度数は何冊ですか？

富士見町図書館長	先程お配りした資料にあるかと思いますが、1人10冊です。その他にCD、DVDに関しては2点ずつ貸出ができます。月に1回家庭読書の日を設けておりまして、その日は20冊まで借りられるようになっています。
副委員長	学校にも家庭読書の日がありますが、それと同じですか？
富士見町図書館職員	毎月第3日曜日を家庭読書の日としておりまして、その前日の土曜日を含め土日を20冊貸出の日としています。
委員長	それは図書館独自の規定ですか？
富士見町図書館職員	そうです。図書館で決めたものです。
生涯学習課長	その時の利用はかなりあるのですか？
富士見町図書館職員	その日はやはり利用が多いですね。買い物かごいっぱいにして家族で借りていかれる方だとか、稀ですがスーツケースで来られる方もいます。
委員	20冊貸出の時の貸出期間はどのくらいですか？
富士見町図書館職員	2週間です。予約がなければさらに延長できます。
委員長	家庭読書の日だからということでイベント等をやっているのですか？
富士見町図書館職員	いいえ、イベントはやっていません。今日は家庭読書の日ですから20冊借りられますよ、と案内をするくらいです。
委員長	では質問事項の2番目です。大勢の方に来館してもらうために工夫していることはありますか？
富士見町図書館長	特別にこれというものはないのですが、おはなし会を週に2回行っていますし、ボランティアの皆さんと連携して夏祭りや秋祭りなどのイベントを開いたり、おはなし会には乗り物やアルパカさんと呼んだり、趣向を凝らしています。また、月に1回程度AVホールという映画を見られる部屋があるので、そこで映画上映会をします。また、「科学のとびら」という工作教室を開催して、より本に親しんでもらうための催しをしております。
委員長	「科学のとびら」では何を作るのですか？
富士見町図書館職員	ランプを作ったり、夏休みには親子で工作してもらい、それが学校の宿題にもなるようなものを企画したり、外部に依頼している講師の方が色々と考えて下さって作品を作ったりゲームをしたり、年間を通して4回ありますが全部違うことをしています。
委員	その時の参加者数はどのくらいですか？
富士見町図書館職員	親子で10組に満たないくらいです。そのようなイベントに来ると、前後の時間に図書館にも寄っていただけるということはあるかと思いますが。あとは茅野市さんもやっていると思いますが、各テーマコーナーを季節ごと、だいたいひと月に1度くらい担当が飾り付けを変えて、目新しくするようにしています。

委員長	コーナーごとに担当者がいらっしゃるのですか？
富士見町図書館職員	はい、います。
委員長	図書館の利用者はどのくらいの年齢層の方が多いのでしょうか。
富士見町図書館長	図書館システムから年齢別の貸出数の集計を出したところ、1番多いのが70歳代以上の方ですね。次に多いのが61歳から70歳。その次に多いのが41歳から50歳。年齢層が高い人の貸出が多いです。逆に少ないのが、19歳から22歳。次に少ないのが16歳から18歳。若年層が比較的少ないということが言えると思います。
委員長	60歳から上の年齢の方は全体に対してどのくらいの割合を占めますか？
富士見町図書館長	約40%です。やはり高齢の方は時間が取れるのでしょうか。学校やお勤めに行っている方は平日図書館になかなか来れないけれど、高齢の方ですと比較的時間に余裕があって来ることができるということあるのかもしれないですね。
委員長	その方々の貸出冊数も全体の40%程度を占めていると考えて良いのでしょうか？
富士見町図書館長	そう考えていただいて結構だと思います。
委員長	利用者さんは富士見町の方と富士見町以外の方ではどのくらいの割合になりますか？
富士見町図書館長	町内の方が約60%、町外の方が約40%ぐらいです。
生涯学習課長	小さい親子連れの利用者さんは普段から多いですか？
富士見町図書館長	平日は未満児の親子連れさんに来ていただいていて、土日になると小学生くらいのご家族の方が多いです。夕方になると中高校生が多いですね。
委員長	蔵書はどのような分野を重点的に集められていますか？
富士見町図書館長	特に何かを重点的に収集しているということはなく、幅広い分野から選ぶようにしています。選書につきましては、職員で選書する以外にリクエストを受け付けておりまして、リクエストの中からも選んでいます。
委員長	リクエストは多いのですか？
富士見町図書館長	リクエストは最近それほど多くはないです。種類が多いのでこれ以上増やせないです。
委員長	図書館の運営にあたり、貸出冊数以外に指標としているものがありますか？
富士見町図書館長	指標としているものはないですね。入館者数は統計をとっておりますが、それを見て今日は少ない、とか指標にしている訳ではなくあくまで目安として見えています。
委員長	図書館の運営にあたり、何かお困りのことはありますか？

富士見町図書館長	先ほど閉架書庫を見ていただいた時に少しお話をしましたが、開館当初から10年くらいは蔵書が少なかったものですから、蔵書を増やしていけば良かったのですが、今は見ての通り閉架書庫がいっぱいになってしまったので、今度は除籍を進めたいのですが、なかなか手が回らないというのが今の一番の課題です。また、そのまま廃棄をしてしまうのももったいないので古本市を年に何回か開催し皆さんに無料で配布しています。
委員長	図書館の運営にあたって、目指していることは何ですか？
富士見町図書館長	特に何かの数字を目指しているということはありません。先ほどお配りした資料の中にもありますが、基本目標を掲げています。居心地の良い行きたくなるような図書館、地域の方がふれあえる憩いの図書館、地域の活性化としての情報拠点としての図書館、季節を感じられるようなイベント・装飾のある図書館、子育ての情報発信としての図書館、子どもから高齢者まで全世代が利用できる図書館、ということを目指しておりまして、貸出冊数を増やすために何かを頑張るといような目標は特に設けておりません。先ほど言った基本目標に掲げた通り、地域の方が自然に図書館に足を向けていただくことが重要なのかなと考えております。
委員長	図書館職員として意識していること、大事にしていることは何かありますか？
富士見町図書館職員	利用者さんには気持ちよく帰っていただきたいという気持ちはあるので、レファレンスを初めとして「応えられるような図書館でいる」ということを目標にしています。頼りになる図書館、本当に来て良かったと思ってもらえるような図書館にしたいなと思っています。
委員長	質問されることは多いですか？
富士見町図書館職員	多いです。中には難しくて深堀りして調べなければ回答できないようなものもあります。
生涯学習課長	来て良かったと思ってもらえるような図書館にしたいというのは、職員の皆さんの共通認識として思っていच्छることなのですか？
富士見町図書館職員	そうですね。例えば探している本ですとか、どんなに小さなことでも質問されたことに対してはなるべく応えられるようにしたいと思っています。
委員長	せっかくの機会ですので、職員さんも含めて何か質問事項がありましたらお願いします。
茅野市図書館職員	先程講座のことについてお聞きした中では、子どもさん向けのものが多いのかなという印象でした。しかし利用されている方は60歳以上の方が多いということでしたので、高齢者向けのイベントなど何かされていच्छるのでしょうか？
富士見町図書館職員	今のところできていないです。大人の方向けの朗読のようなイベントもできたらいいな、と考えているところなのですが、茅野市さんは何かされていますか？
茅野市図書館職員	茅野市でもまだできてはいないのですが、これから大人向けの催しもできたらいいなと思っていますところす。

富士見町図書館職員	富士見町でも大人の読み聞かせ講座のようなものがあつたらいいな、と言われてたことがあります。
委員長	茅野市でもやはりどうしてもイベントはお子さん向けやご家族向けになってしまふことが多いので、高齢者向けのものも考えてくださいとお願いしています。
富士見町図書館職員	子ども読書推進についての取り組みは全国的に様々な形でされているのですが、高齢者の方々にどうアピールしていくかというのはこれからの課題だと思います。
委員長	茅野市でも同じような状況で、利用者は60歳以上の方が40%くらいを占めています。けれども対象の分野はどうしてもお子さん向けばかりになってしまふので、考えていかななくてはいけないなと思っています。
富士見町図書館職員	先ほど図書館上映会をやっているという話をさせていただいたのですが、もちろん子ども向けの上映会も重視しているのですが、大人向けの上映会も取り入れるようにしています。終活の内容の映画の時にはご高齢の方に喜ばれていましたので、そういった年齢層の方たち向けのものも考えていきたいなと思っております。
委員	学校図書館との連携と資料にあります、具体的にはどのようなことをされているのですか？
富士見町図書館職員	実は今日も整理日で全員出勤していますが、そのうち3人は学校に出向いて3クラスに読み聞かせをしに行っています。教室に出向いて、図書館の本を読み聞かせをする、という事業があります。それ以外には、保育園にも行っています。春1回と、秋に1回行く時には公園で遊んでから図書館に寄って読み聞かせを聞いてもらって、子どもたちに自分たちの好きな絵本を貸し出して家で読んでもらうということをしています。
委員	学校で調べる学習というものがありますが、その時に図書館まで足を運ぶのが大変だと思うのです。何か調べ学習をしたいと思った時に、教室の後ろや廊下などに図書がたくさんあれば、すぐその場で調べることができるのではと思っているのですが、調べる学習用の本はどうされていますか？
富士見町図書館長	実は富士見町の図書館と各学校図書館はネットワークで繋がってしまして、学校から予約をかけますと、毎日学校と教育委員会と図書館を回ってくださる方がいて学校図書館に富士見町図書館の本を届けることができます。また、学校間でも図書館検索をすればこの小学校にはないけれども中学校にはある、などといったこともわかりますので、学校の夏休みの課題図書でもお互いにやり取りをしています。
生涯学習課長	茅野市は学校と繋がっていたのでしたっけ？
茅野市図書館職員	物流は週に2日、回る日があります。
委員	茅野市の場合は、学校は公共図書館の蔵書を見ることができますが、公共図書館から学校の蔵書を見ることができません。学校は公共図書館を含めた検索をして、本を学校へ取り寄せることができます。
委員長	学校にある本はシステムに登録してないということですか？

委員	登録はしていて、学校図書館間で相互貸借することはできます。ただ、学校図書館は公共図書館の蔵書を見ることができませんが、公共図書館は学校の蔵書を見ることができないというシステムになっています。ですので、富士見町図書館さんが毎日学校図書館を回っているというのはすごいですね。
富士見町図書館長	そうですね。学校や教育委員会に文書を届けるために毎日回っている方がいるので、その方に図書も運んでもらっています。
富士見町図書館職員	図書館が頼んでいるのではなくて、教育委員会の方で手配して頂いている方がいて、その方に預けています。
生涯学習課長	茅野市の場合は週2回物流が回っているのと、各学校間は毎日文書を届ける方がいるので、それでカバーできるかなと思います。
委員長	大活字本がかなり充実していましたけれど、大活字本を利用する人は多いのですか？
富士見町図書館職員	統計はとっていないのですが、大活字本を利用する人は増えてきていると思います。高齢者向けはもちろんですが目の悪いお子さん向けの本もあって、アクセシブルライブラリーというコーナーを設けて大活字本の一部をそちらにも置いています。そのような、どなたでも読める本を増やしていこうと思っています。
委員	ボランティア団体の中に「宅配ボランティアの会」とありますが、これはどのようなことをされているのですか？
富士見町図書館長	例えば、老人福祉施設で本を読みたいけれどなかなか図書館へ行けない方がいる、といったような要望があれば図書館で貸し出した本をボランティアの方がその方まで届けてくれますし、希望があればその場で朗読をしてくれるという団体がありました。けれども、コロナでそういった活動ができなくなったことと、その団体の代表の方がお亡くなりになってしまっていて、実は今年解散をしてしまいました。高齢者の方にとってはありがたい存在で大変好評だったのでとても残念でした。
委員	それは施設のようなところだけが対象だったのですか？
富士見町図書館長	施設も対象ですが、個人のお宅への宅配もボランティアの方にやっていたいていました。
委員	富士見町図書館さんが基本目標として掲げられている「居心地の良い行きたくなるような図書館」ですが、見学させていただいて本当にそう感じました。最初建物に入った時に明るさや環境の良さを感じ、立地条件がとても良いなと思ったので、その要素が強いのかなと思ったのですが「居心地の良い」ということに関しては中を細かく見せていただいたときに、レイアウトの仕方や本のまとめ方の区切りが丁寧だなという印象を持ちました。例えばこたつが置ける畳スペースの脇に置いてあるのは新聞です。新聞はこたつに入ってゆっくり広げてみたいなという欲求に上手に応えていて、そのようなきめ細やかな心配りを丁寧にされているなという印象を持ちました。ひとつお聞きしたいのは「毛利子来先生のコーナー」がありましたが、あれはどういう主旨でできたのですか？

富士見町図書館職員	毛利先生は千葉県出身の方ですが富士見町に別荘があって、本をいただいたのでコーナーを作りました。
委員	それから、とても良いなと思ったのは児童コーナーの本の分けが、児童コーナーであってもきちんと「哲学」とか「歴史」などのように言葉が大きく載っていたことです。そうすると児童コーナーに行ったとき「哲学って一体なんだろう」と大人が見ても興味を惹かれるし、子どもたちにとってもこうしたものに小学生のうちから向き合えるので、非常に良い展示の仕方だなと思いました。 展示の内容は皆さんで会議をされて決めているのか、それとも個人の人が「こういうものを作ったらどう？」と思いついた意見を反映させて決めているのか、どのようにされているのですか？
富士見町図書館職員	展示は担当者の判断で作っています。
委員	「10代の集い場」というものが10月からスタートする、とありましたが図書館でやられているものなのですか？
富士見町図書館職員	これは図書館とは関係がなく、こういうものもやっていますよというお知らせを載せています。
委員	図書館にきてもらうのが目的でされているものではないのですか？
富士見町図書館職員	そうではなく、図書館以外にも居場所があるよということを伝えるためにご紹介しているものです。
委員	それぞれの書棚のタイトルの付け方が大きめでわかりやすく良いなと思いました。こういったことは茅野市の図書館でもすぐに検討できることではないかなと思いました。建物の利便性だとか環境の要因は大きいと思いますが、本の見せ方次第で図書館に居るのが楽しくなるような工夫はとても参考になるのではないかと思います。
委員長	私は茅野市の図書館にセルフ貸出機を入れた方がいいという話をしたことがあって、富士見町の図書館さんにありましたのでお伺いしたいのですが、セルフ貸出機をお使いになる方はどのくらいいらっしゃいますか？
富士見町図書館長	1日に数件はそういった方がおられますが、多くの方はカウンターに本を持ってきます。もう少しわかりやすい場所におけばもっと利用してもらえるのかな、とも思います。
富士見町図書館職員	お子さん連れの方がお子さんと楽しくやりたいということでやっていかれる方もいます。
委員長	レイアウトは最初から今と同じですか？
富士見町図書館長	基本的には開館当初から同じです。
生涯学習部長	ビジネスコーナーも開館当初からありましたか？
富士見町図書館長	ご覧いただいたビジネスコーナーと児童の絵本のコーナーは後から増築しているので、その分だけは当初より床面積が増えています。

生涯学習部長	そういったニーズがあって、増やされたということなのですか？
富士見町図書館長	ビジネスコーナーは当初からあった訳ではなく、パソコンの普及や大人向けにもう少し静かな場所が欲しいという要望があり設けたと聞いております。
生涯学習部長	そういったニーズの把握はどうされているのですか？
富士見町図書館長	その時は要望が直接あったと聞いております。
委員長	そういえばバブルの頃、図書館でビジネス支援が流行った時期がありましたよね。
富士見町図書館長	当時は Wi-Fi もなくて LAN ケーブルを繋ぐ設備があったのですが、時代とともにそれも変わって今は Wi-Fi を使っていただいております。
生涯学習課長	フリースポットサービスにかかる費用は大きいですか？
富士見町図書館長	いいえ。それほど大きい金額ではないです。
茅野市図書館職員	持ち込みパソコンを使える場所はどこにありますか？
富士見町図書館長	図書館のフリースポットは図書館全体で使えるようになっていますが、パソコン自体はビジネスコーナーで使用するようになっています。
茅野市図書館職員	児童書の担当をしているのですが、1度書店さんから本をいただいて、担当で見計らいをした後書店さんに本を戻し装備をしてもらってからもう1度図書館に戻ってくるということをしているので、どうしても新刊が出るタイミングが6市町村の中で茅野が1番遅いと思うのですが、富士見町さんでは同じように見計らいをしているのか？また、選書は職員全員でしているのか、それとも決まった司書さんだけでしているのか？をお伺いしたいです。
富士見町図書館職員	見計らいはあまりしていません。年に数回くらいです。
茅野市図書館職員	では、全点案内のようなものを見て、良いと思うものをそのまま購入しているのですか？
富士見町図書館職員	そうです。選書も職員全員でやっていて、担当者の方からこれは古くなってきたからそろそろ新しいものが欲しい、ですとかこの本は面白そうだから欲しい、というような要望をあげてもらった後で最終的に全員で話をして決めています。自分の担当分野以外でもこんな本があったらいいなというものをチェックして、なるべく偏りがないように多くの人の目で見えて判断しています。最終的に担当者が同じような本がないかどうか、本当に必要な本なのかをチェックするようにしています。
生涯学習課長	それは児童書だけの話ですか？
富士見町図書館職員	いいえ、全体の話です。
茅野市図書館職員	茅野市もかなり棚がきつい状況で除籍を進めているのですが、児童書の場合4類、5類等は古くなったら捨てるというように判断がしやすいですが、絵本だとどうしても初版本は取っておきたいとか色々考えてしまって、どうし

	でも捨てられない本で溢れかえってしまうのですが、富士見町さんは除籍の基準のようなものはありますか？
富士見町図書館職員	絵本の担当者はやはり初版本は取っておきたい、ですとか色々な気持ちがあつてなかなか捨てられないということがありましたが、先日のネットワーク会議を機に何冊もあるものは2冊に絞ろうというようにして、3～4冊あるものはここで2冊までに減らしました。
茅野市図書館職員	いただいた資料にあります「運営のポイント」の5つの項目について、例えばこんなことですよというように具体的にひとつずつお答えいただけたらありがたいです。
富士見町図書館長	難しいですね。「利用者の声を運営に生かす」については、ロビーに設置している町長や教育長への手紙というポストがありまして、これは町全体を対象にしたご意見箱のようなものですが、そこに図書館の運営についてのご意見をいただいたこともあります。リクエスト本以外にもそういった意見を反映させる場があります。
富士見町図書館職員	あとは、窓口で小さな声で言われたようなことも、いったん検討してできることであればやる、という気持ちはあります。
委員長	よろしいですか？もう少し詳しく聞きますか？
茅野市図書館職員	では、4つ目の「複合館の利点を生かした活動」として何か具体的にやられていることがあれば教えてください。
富士見町図書館職員	先ほどご覧いただいた AV ホールを使った上映会や、大会議室で行う「科学のとびら」などイベントを中心に活動しています。いろんなことができるのが利点かなと思います。
茅野市図書館職員	そのイベントは料金が発生しますか？
富士見町図書館職員	無料です。
茅野市図書館職員	公園が数年前にできてだいぶ雰囲気が変わったと思うのですが、それによって何か変化がありましたか？
富士見町図書館職員	変化は感じます。小さなお子さんが公園で遊んでいて、雨が降ると図書館に来るようになりました。
茅野市図書館職員	その時、泥だらけで困ったりするようなことも特にはないですか？
富士見町図書館職員	ないですね。あんまり酷い時は「すみません、ちょっと靴を・・・」とお声がけしますが、あまり汚れた格好で来る方はいらっしゃらないです。
生涯学習課長	複合館の会議室で吹き矢などやってらっしゃいましたけど、そういう活動で来た方が図書館に寄って帰るということは多いのですか？
富士見町図書館職員	それもあると思います。何かの教室に来て、その後ちょっと寄って行こうという方はいると思います。
生涯学習課長	寄りやすいですね。

富士見町図書館職員	ちょっとした荷物置き場もあるので、教室の後図書館に寄っていただいてもゆっくり見てもらえます。
茅野市図書館職員	職員の数がほぼ同じなのですが、担当は大雑把に一般と児童、というような形になっているのか？それとももっと細分化されているのか？担当はどのように分けていらっしゃるのか教えて欲しいです。
富士見町図書館職員	割と細かくて、児童、文学、大活字本、雑誌、AV 資料、一般、郷土などというように分かれています。
茅野市図書館職員	先ほど選書の際は全員で見た後にその担当者が似たような本がないか見るとおっしゃっていましたが、例えば本が入ってきた時にはその担当の方が登録からブッカーをかけるまで、すべてやってらっしゃるのでしょうか？
富士見町図書館職員	そうです。例えば図書館流通センターから来る図書は担当のところに置いて、担当者が登録等しています。棚なども一連を担当者が管理しています。
茅野市図書館職員	先ほど見学させていただいて、見やすく明るい図書館ということに驚きました。展示はエリアごとの担当の方がそれぞれ考えていらっしゃるのか、それとも全体の展示を考える方がいらっしゃるのでしょうか？
富士見町図書館職員	児童コーナーの展示は児童の担当がやっています。その他は自分の担当している分野の近くのコーナーの展示をそれぞれの担当が考えています。例えば文庫の担当の人は文庫の棚の近くで展示をしているのですが、だからといって文庫だけをテーマにするのではなくて、図書館全体の中からテーマを考えて、本を集めています。一般の展示でも、この場所はこの人が考えるとそれぞれ決まっていて、その人が好きにやるというように割と自由にやっています。
茅野市図書館職員	おそらく季節ごとに大きく展示をリニューアルされると思うのですが、そういう時は全体で「こんなイメージで」というのを決めるための話し合いがあるのでしょうか？
富士見町図書館職員	全体的な飾り付けは統一して全員でやっていて、コーナーはそれぞれの担当がやっています。だいたい月に1度模様替えをしています。
生涯学習課長	茅野市の図書館はどのような担当でやっているのですか？
茅野市図書館長	展示担当がいて、展示担当が全部トータルで考えています。
生涯学習課長	展示もそうだけれど、コーナーごとの担当というのはあるのですか？
茅野市図書館長	コーナーごとの担当はないです。
生涯学習課長	富士見町図書館さんは例えば児童書コーナーの担当、ビジネスコーナーの担当といったようなものを決めていらっしゃるのですよね？
富士見町図書館職員	コーナーが5つほど分けてあって、対応する担当者がそれぞれいて、児童担当はたまたま児童コーナーを受け持っていて、一般コーナーにある書評のコーナーはビジネス担当がやっていますが、そこで紹介する本は自分の担当とは関係なく選んでいます。

茅野市図書館職員	おはなし会は火曜日と土曜日に週に2回されているということですが、どのくらいの年齢層の方が来るのか、人数はどれくらい集まるのか知りたいです。もうひとつ、英語のおはなし会は職員の方がされていますか？それとも外部の方に依頼してやってらっしゃるのでしょうか？
富士見町図書館職員	火曜日のおはなし会は平日なのでお子さん連れの親子が少ない時で2～3組、平日は平均して5組来れば良い方かなと思います。土曜日はお休みの日なのでもう少し多いですが、それでも10組程度です。おはなし会が始まる前に放送して呼びかけをしているのですが、外に公園ができてからはお外で遊ぶのが楽しくなってお子さんがなかなか来てくれないという日もあります。英語のおはなし会はやはり職員ではできないので、外部の方をお願いして月に1度行っています。
富士見町図書館長	おはなし会にアルパカさんが来たときは本当に大勢来ましたよ。
富士見町図書館職員	エサもあげさせてもらいましたし、おはなし会が始まる前に見えてしまうと、もうおはなし会どころではなくなってしまうので、おはなし会が終わるまでアルパカさんが見えないように隠して工夫しました。
生涯学習課長	それは子どもさんが喜ぶでしょうね。
茅野市図書館職員	公民館と一体となった複合施設で駅が近い、公園があるという立地の条件の良さは本当にうらやましいなと思いました。それに加えて、職員さんの細やかな工夫などもありましたので参考にさせていただきました。本の廃棄については茅野市も同じ悩みなのですが、ひとつお聞きしたいのは、年間で購入本と同じくらいの冊数を廃棄しているのでしょうか？
富士見町図書館職員	できていないですね。
富士見町図書館長	目標としては買った分だけ除籍していかないと、スペースが足りなくなってしまうのですが、なかなかできないのがやはり今の課題ですね。
茅野市図書館職員	どの本を廃棄するのか基準が難しいですね。茅野市は棚が高くて圧迫感があるので、富士見町さんの棚を参考にさせていただきました。ありがとうございました。
茅野市図書館職員	レファレンスの担当をしているのですが、調べてすぐわかるようなものや、2～3日調査してわかるようなもののほかに、どうやってもこれ以上回答が出ないというようなレファレンスを受けた時に、どこまで調べて終わりにすればいいのか判断に悩みます。例えば本だけ調べて終わりにしているのか、外部施設のようなところまで問い合わせをされているのか、どのようにされているのでしょうか。
富士見町図書館職員	レファレンス担当というものはなくて、受けた人が調べてお答えするようにしています。自分でできるところまでやって、わからない時は他の職員にも聞くようにしていますが、案件ごとに違うので一概にここまでやっていますとは言えません。ただ、あまり外部にまで聞いて調べているということはないように思います。自館の中で調べてわからない場合は、他のこの図書館さんだったらわかりそうですよという情報提供をしています。
委員	行事の中に「読書チャンピオン」というものがあるのですが、これはどのようなものですか？

富士見町図書館職員	これは毎年各学校の司書さんに学校ごとの貸出数を調べてもらい、上位何名かの名前をあげてもらって、そのお子さんを表彰しています。
委員	富士見町の図書館に来た人ではなく、学校単位ですか？
富士見町図書館職員	はい、学校単位です。
富士見町図書館長	表彰式は富士見町図書館でやっています。
富士見町図書館職員	表彰式では数人に読んだ本の感想を言ってもらったりしています。
生涯学習課長	茅野市の学校では同じようなことをやっていたりしないのですか？
委員	やっていないです。本を好きな子には嬉しい催しですよ。
富士見町図書館職員	ただ問題があって、絵本ばかり 10 冊借りる子と、小説を 1 冊か 2 冊借りる子がいても貸出数でしか見ていないので、それでいいのかという問題はあるのですが、本に親しんでほしいということで続けています。入賞すると景品が出るのでそれを楽しみに借りる子もいます。
委員	借りたら 1 回はその本を家に持って帰っているのですものね。
富士見町図書館職員	本に触れることでその先に繋がってくれればと思っています。
委員長	それでは、質問事項は以上になります。たくさんの質問に対し、ご丁寧に答えてくださりまして本当にありがとうございました。
富士見町図書館職員	先ほど図書館の中を見ていただいたのですが、最後に見ていただきたい箇所があります。入口から入ってすぐは棚が低く、奥に行くほど棚が高くなるといったように遠くまで見渡せる造りになっていますので、良かったらもう一度見てください。
生涯学習課長	6 閉会（矢嶋生涯学習課長） それでは、本日の次第はすべて終了しましたので、これを持ちまして、令和 6 年度第 2 回茅野市図書館協議会を閉会させていただきます。長時間ありがとうございました。本日はお忙しい中、ご対応いただきましてありがとうございました。おかげさまで良い視察になりました。 ～午後 4 時 15 分 会議終了～